

大きな災害が起こったときは、倒壊家屋などの障害で避難することが困難になります。スムーズに避難するためにはどうすればいいのでしょうか。

車で避難するとどうなる？

大震災発生一。

応急生活用品を詰め込み、避難所へ車で急ぐあなた。しかし、避難路を進んでいると一



出典：財団法人消防科学総合センター

家やブロック塀が倒れていて、通行できないようです。道を変えても渋滞で、車がまったく動かなくなっていました一。

避難は「原則徒歩」

大きな災害が発生すると道路に亀裂が入ったり、家やブロック塀などが倒れたりして、道路が通行できないようになります。

このような状態で、みんなが車で避難すると道路は大渋滞になってしまい、本当に道路を使わなければいけない消防車や救急車が通れません。

消防車や救急車の到着が遅れるとたくさんの人の命にかかります。避難は原則徒歩で行うようにしましょう。

避難路は「状況に応じて、複数決めておく」

被災時に家にいるとは限りません。職場や学校にいる、出掛けているなど、状況に応じて避難路を考えておきましょう。

また、火災や道路の寸断、倒壊家屋などの障害で避難路が通行できない場合が考えられます。

地域の避難訓練などで、毎回違う経路を通して避難し、複数の経路を考えておきましょう。遠回りでも大きい道路を選んでおくことも、安全な避難経路を確保するためのポイントです。

Topics

どちらに避難する？

一時避難場所と指定避難所

まず最初に避難する先は、地域で決めている一時避難場所です。地域住民同士で、安否確認や情報交換などを行うようにしてください。

指定避難所は、避難所として使用して大丈夫かをしっかり調査してから開設します。

開設されたからといって、必ず指定避難所へ避難しなければならないというわけではありません。



一時避難場所で命の無事が確保された後に、家が無事な場合や頼れる親戚がいる場合は、そちらに移動する選択肢もあります。指定避難所は、生活する場所がなくなってしまった人たちが生活する場所となります。